

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生活環境課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力	
分野別方針	(6)循環型社会の推進		実施計画事業	2) 3R・3S推進事業 (No.40)	
予算等事業名	ごみ減量化・再利用事業 (3R・3S推進運動)				
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。				
内容	ごみの減量化・再利用化を推進し、啓発事業を行う。				
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 二宮町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例				
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	ごみ減量化推進協議会 3回、地域環境推進員会議 2回を実施した。 ごみ減量化地域説明会を町内17箇所(518名参加)で実施し、小学校の運動会等で水切りキャンペーンを実施した。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	1人1日当たりのごみ排出量				
前期(27年度)目標値	838.8g/人・日			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	環境基本計画実施計画の目標値より	
	828.9g/人・日				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		11,609	11,370				
財源内訳	一般財源	3,419	3,062				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	8,190	8,308				

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、快適な生活を確保する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、快適な生活を確保する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 地域説明会及び水切りキャンペーンにより目標以上の減量化となった。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 地域説明会の実施や水切りキャンペーンについては費用をかけず、地区と連携し実施している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 地域説明会や水切りキャンペーンの実施により、着実にごみが減量している。今後も引き続き、3R・3Sを推進していく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	ごみ処理広域化に伴い、ごみの分別・収集日に変更となるため、地域説明会や広報、地区を通じて周知の徹底を図る。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	循環型社会の実現に向けたまちづくりが必要である。		
今後の方向性	地域説明会において、分別方法の説明をし減量化・資源化を推進する。		